





□□において、□□の□□が□□の□□よりも□□であるという□□のうえに□□された□は、□く□□していました。しかし、このような□は□□□□に□□してきました。その□も□きなケースが、□□□□の□□および□□□□した□□□□の□しつけに□づいたソビエト□□の□□でした。カバラの□□は、なぜこのようなユートピア□□□□が□える□□にあるのかを□□します。それらの□は□□□□な□□を□□に□そうと□みました。しかし□□の□□□□□□は□□□□に□づいて□□することであるとカバラはとなえます。その□□からそのような□の□□は、□□の□□に□する□□を□いられ、ますます□□になったのです。そして□□□□に□□の□□が、□□□□な□□または□□であれ、□□よりも□く□するようになったのです。□□と□□の□□は□□□□に□□□□を□□させるのです。

カバラによると、□□の□□の□□が□□し□□する□□の□□は、□□の□□そのものを□□させることです。カバラは□□□□□□が□つ□の□であることを□□させる□□を□□します。□々がこの□□を□□した□、□□に□□うことが□は□□□□□□に□□うこととまったく□じであると□□するようになります。そして□々を□□□□に□□に□えさせ□かち□わさせる□□がなくなります。それが□□の□しい□□□□□□になり、□□は□□するようになります。□□□□している□□は□て□えてなくなり、□□□□と□□は□□のものになるでしょう。そして□□は□□の□□のなかで□らすようになります。